

注意

- 1.作業時は、作業手袋などを着用してください。
- 2.認定書・評定書の仕様に基づき、正しく施工してください。
- 3.配管サイズ選定の際には、貫通穴径および占積率を共に満たすことを確認してください。
- 4.製品をカットするなどの改造はしないでください。

製品仕様

セット明細 ・脚部継手用断熱シート:1枚
・アルミガラスクロステープ:2枚 (単位:mm)

型番	継手立て管サイズ	断熱シート	アルミガラスクロステープ
KDS-80	75・80(φ91~94)	75×380	50×515
KDS-100	100(φ110~119)	75×460	50×595
KDS-125	125(φ143)	75×540	50×675

■適用範囲概要(詳細は・評定書を確認してください。)

	IRLPとの組合せ
国土交通大臣認定番号	PS060FL-0953(床)
(一財)日本消防設備安全センター評定番号	KK30-003号(床)(共住)
床厚(mm)	150以上(ALC・コンクリート)
最大開口径(mm)	φ260
最大占積率(%)	32.9
最大立て管サイズ	125A
最大横主管サイズ	耐火二層管:100A

■適用排水用集合管

積水化学工業(株)製	AD脚部継手ロングタイプ
(株)クボタケミックス製	Lベンド首長タイプ、LベンドCD付首長タイプ
(株)小島製作所製	首長型LJL脚部継手

国土交通大臣認定書
(一財)日本消防設備
安全センター評定書



<施工の際に別途ご用意いただくもの>

- ・耐火遮音カバーIRLP
- ・ジョイントテープ

<施工工具>

- ・ハサミまたはカッターナイフ、ウエス

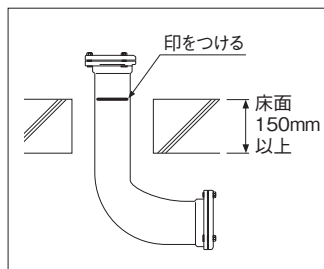
■施工手順

※施工前に装着部分のほこりや汚れをウエスなどで拭き取ってください。

1. 開口部の設置

継手サイズ、占積率を考慮して貫通開口部を設けてください。

(IRSP:φ240mm以下
IRLP:φ260mm以下)

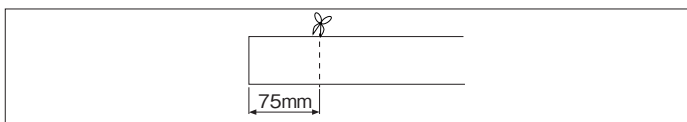


2. 脚部用断熱シートの位置決め

継手を仮置きし、床面位置に印をつけます。

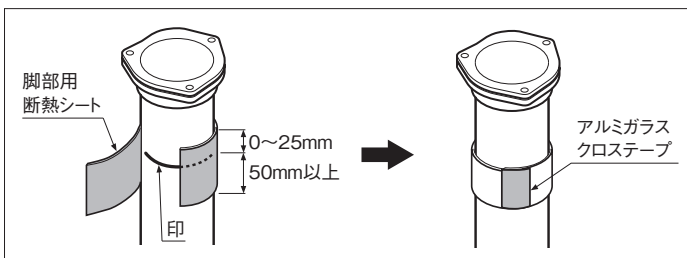
3. 仮止め用アルミガラスクロステープのカット

付属のアルミガラスクロステープの1枚を、端から75mm(脚部用断熱シート幅分)カットします。



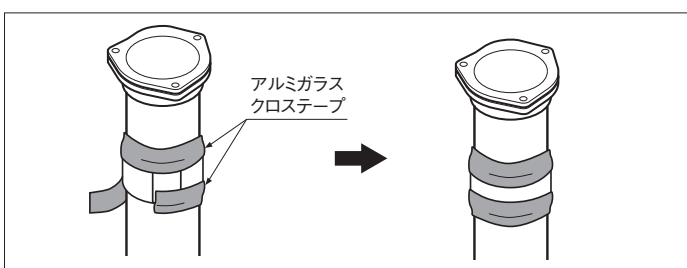
4. 脚部用断熱シートの巻き付け

脚部用断熱シートを印(床面位置)から50mm以上開口内に入るようにオーバーラップして巻き付け、3.でカットしたアルミガラスクロステープで仮止めします。



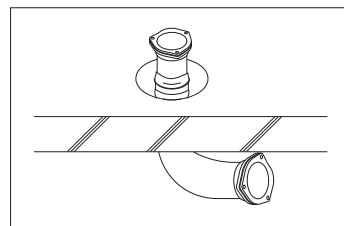
5. アルミガラスクロステープの巻き付け

仮止めした脚部用断熱シートの上下端部に同梱のアルミガラスクロステープを巻き付けます。



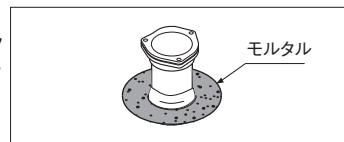
6. 継手の設置

継手を所定の位置に設置します。



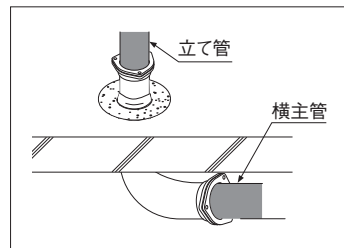
7. 埋戻し

貫通開口部と継手のすき間をモルタルですき間のないよう埋め戻してください。



8. 立て管・横主管の設置

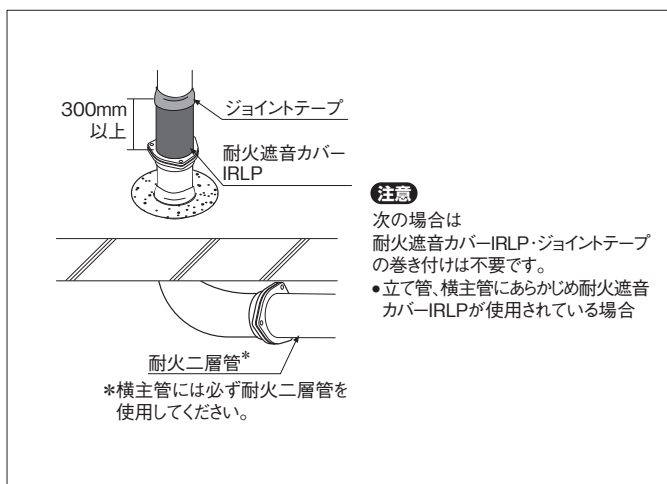
立て管・横主管を継手に挿入します。



9. 被覆材・ジョイントテープの巻き付け

<IRLPとの組合せ>

立て管の継手との接続部に耐火遮音カバーIRLPを300mm以上巻き付け、端部をジョイントテープで巻き付けます。



注意

次の場合は耐火遮音カバーIRLP・ジョイントテープの巻き付けは不要です。

- ・立て管、横主管にあらかじめ耐火遮音カバーIRLPが使用されている場合

消防評価一括マーク 請求カード



因幡電機産業株式会社 因幡電工カンパニー

営業所 行

FAX () -

(注)消防評価一括マークは、共住区画貫通に使用される場合のみご請求願います。

共住区画とは、消防法施行令別表第1(5)口項に規定されている「寄宿舍、下宿または共同住宅」に適用されています。

■『消防評価一括マーク』について

脚部継手用断熱シートを使用した防火区画貫通部措置工法は、平成17年消防庁告示第4号に規定する耐火性能を有することを(一財)日本消防設備安全センターにより確認(性能評価)されています。特定共同住宅等の床(共住区画)でのご使用の際は、必ず性能評価品である旨の表示(評価一括マークまたは評価証票)が必要になります。こちらの請求カードに必要な枚数等をご記入の上、弊社までFAXにて送付願います。確認の上、折り返しご請求枚数の「評価一括マーク」をお送りいたします。

(一財)日本消防設備安全センター評価:KK30-003号(床)(共住)

KDS 脚部継手用断熱シート

※ 上記枠内に下記の最寄の営業所名をご記入の上、FAXにてお送りください。

※ 楷書体でご記入ください。

※ 現場単位でまとめて1枚の消防評価一括マークご請求カードでお送りください。

▼ 施工内容

現 場 名	
所 在 地	
施 主 名	
建 築 施 工 会 社 名	
設 備 施 工 会 社 名	
ご 購 入 店	TEL () -

▼ 共住区画のご確認 (消防評価一括マークは共住区画に使用される場合のみ必要です)

☐※ 共住区画であればチェックしてください。

▼ ご請求枚数 消防(特定共住区画)評価一括マークご請求枚数

消防(特定共住区画)評価一括マークご請求枚数	KK30-003号(床)(共住)*	枚
------------------------	-------------------	---

※脚部継手貫通において立管にIRLP、横主管に耐火二層管をご使用の場合にご請求ください。

(注)消防評価一括マークは、一つの防火対象物(建築物1棟)に1枚貼付してください。

▼ 施工のご確認

取扱説明書に基づき施工完了された事をご確認の上で署名および捺印してください。



(印)

▼ 送付先

貴 社 名			
所 属 部 署		ご 担 当 者 名	
ご 住 所	〒		
T E L	()	-	

※施工現場への送付をご希望の場合は、現場名までご記入ください。

因幡電工カンパニー

因幡電機産業株式会社

詳しくはウェブサイトをご覧ください

<https://www.inaba-denko.com/> (最新情報や技術資料など)
<https://www.inaba-denko.com/ja/network> (営業窓口)

INABA DENKO

動画チャンネルはこちら ▶▶



札幌営業所 ☎(011)209-1784(代) FAX(011)209-1789 / 首都圏3課 ☎(03)5437-7155(代) FAX(03)6778-1938 / 近畿2課 ☎(06)4391-1732(代) FAX(06)7664-9104 / 広域2課(東京) ☎(03)5437-7152(代) FAX(03)6778-1935
仙台営業所 ☎(022)293-1785(代) FAX(022)293-1802 / 横浜営業所 ☎(045)470-1780(代) FAX(045)470-1798 / 広島営業所 ☎(082)545-1132(代) FAX(082)545-1134 / 東京推進課 ☎(03)5437-7151(代) FAX(03)6778-1934
関東営業所 ☎(048)642-1783(代) FAX(048)642-1756 / 名古屋営業所 ☎(052)541-1780(代) FAX(052)541-1791 / 九州1課 ☎(092)283-1751(代) FAX(092)262-1787 / 大阪推進課 ☎(06)4391-1941(代) FAX(06)4391-1920
首都圏1課 ☎(03)5437-7153(代) FAX(03)6778-1936 / 金沢営業所 ☎(076)262-1783(代) FAX(076)262-1787 / 九州2課 ☎(092)283-1785(代) FAX(092)262-1787
首都圏2課 ☎(03)5437-7154(代) FAX(03)6778-1937 / 近畿1課 ☎(06)4391-1940(代) FAX(06)7664-9103 / 広域1課(大阪) ☎(06)4391-1713(代) FAX(06)7664-9105

※商品に関するお問い合わせは、
お近くの営業所へお気軽にどうぞ。

20220916